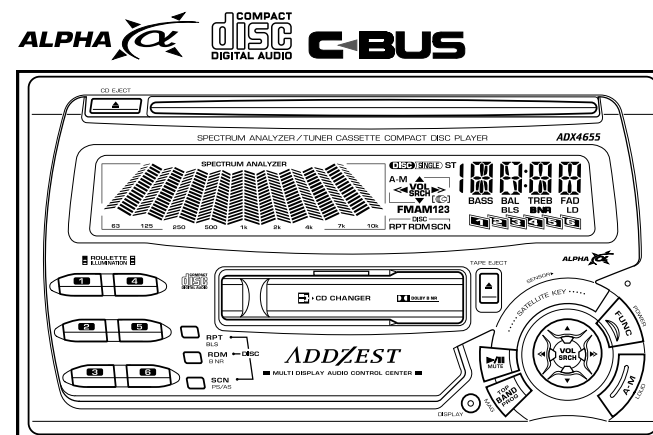


ADDZEST

CD コントロール AM/FM チューナー付 CD/ カセットデッキアンプ

ADX4655

取扱説明書



このたびは、アゼスト商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

- 安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」と「安全パンフレット」(別添)をよくお読みください。
- 保証書(別添)は、お買い求めの販売店で記入いたしますので、内容をよくご確認のうえ、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- この取扱説明書には、本機で操作するCDチェンジャーの操作説明も含まれています。CDチェンジャーの取扱説明書には、操作説明が記載されていません。

はじめに

基本の操作

CDチェンジャー

その他

安全に正しくお使いいただくために

安全に正しくお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」と「安全パンフレット」(別添)をよくお読みください。

また、この取扱説明書と安全パンフレットは大切に保管してください。

主な特長

本機は、AM/FMラジオとカセットデッキ、CDデッキを内蔵し、別販のCDチェンジャーを接続してコントロールできるセンターユニットです。

■表示部

- 車内をカラフルに演出する6パターンのスペクトラムアナライザー(18ページ)とルーレットイルミ表示(37ページ)
- ルーレットイルミボタンの照明色が選べる(グリーンまたはアンバー)ダブルイルミネーション(37ページ)

■操作性に優れたα(アルファ)-タッチコントローラー

シンプルな操作と多機能を両立させたα-タッチコントローラーを採用(6ページ)

■ラジオ部

- AMステレオ放送対応(22ページ)
- プリセットが簡単なオートストア機能で、FM12局、AM12局をメモリー(25ページ)
- メモリーした放送局を7秒間ずつ受信するプリセットスキャン機能(25ページ)

■カセットテープ部

- テープ挿入時に、ゴミやホコリからテープメカニズムを守るオートシャットドア機能(26ページ)
- ノイズを低減するドルビーBノイズリダクションシステム(29ページ)
- 12秒以上の無録音部分をとばして演奏するブランクスキップ機能(30ページ)
- 演奏曲の最初の10秒間ずつを演奏するFFスキャン機能(29ページ)
- 演奏中の曲を繰り返し演奏するリピート機能(30ページ)
- 演奏中の曲、または次の曲の頭出しを行うAPC機能(28ページ)
- 早送り/巻戻し中にラジオモードやCDモードに切り換えても、これらの動作が終了してから止まるモニター機能(28ページ)

■CDプレーヤー部

- 演奏中の曲を繰り返し演奏するリピート機能(35ページ)
- 全演奏曲の最初の10秒間ずつを演奏するスキャン機能(35ページ)
- 1枚のディスクの曲を順不同に演奏するランダム機能(36ページ)

■CDチェンジャーコントロール部(別販品を接続してください)

- 演奏中の曲を繰り返し演奏するリピート機能(45ページ)
- 演奏中のディスクを繰り返し演奏するディスクリピート機能(45ページ)
- 全演奏曲の最初の10秒間ずつを演奏するスキャン機能(44ページ)
- 全ディスクの1曲目の最初の10秒間ずつを演奏するディスクスキャン機能(44ページ)
- 1枚のディスクの曲を順不同に演奏するランダム機能(46ページ)
- 収納しているCDの曲を順不同に演奏するディスクランダム機能(46ページ)

目次

■はじめに

ご使用前に知っておいていただきたいご注意や、この取扱説明書で使っている各部の名称などを説明しています。

主な特長	2
ご使用前に	4
各部の名称とはたらき	6
別販カードリモコン(RCB-116-500)の使いかた	8
各部の名称	8
ラジオの操作	9
カセットテープの操作	10
CDの操作(CDチェンジャーの操作)	11
表示を切り換える	12

■基本の操作

13

本機にスピーカーを接続するだけでお楽しみいただける機能を説明しています。

準備する	14
ラジオ放送を聴く	21
カセットテープを聴く	26
CDを聴く	31
設定する	37

「基本の操作」の詳しい目次は、13ページをご覧ください。

■CDチェンジャーの操作

39

本機とスピーカーの他に、別販品のCDチェンジャーを接続したときにお楽しみいただける機能を説明しています。

「CDチェンジャーの操作」の詳しい目次は、39ページをご覧ください。

■その他

47

システム配線例	48
アフターサービスについて	50
製品構成	51
故障と思われる前に	52
エラー表示について	53
仕様	54

ご使用の前に

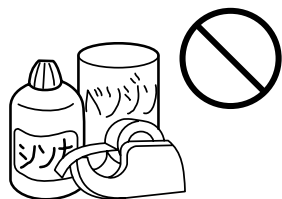
⚠ 注意

樹脂加工部に、ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用しないでください。部品変形により故障し、火災などの原因となることがあります。

自動車用クリーナーなどは使用しないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させておくと、シミのつくことがあります。

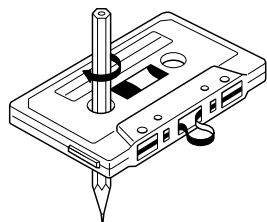
本体のお手入れについて

- 本機をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布につけて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。
- ヘッドが汚れると、高音域が低下します。いつも良い音質でお聴きいただくため、ときどき、市販のクリーニングテープでヘッド表面をクリーニングしてください。



カセットテープについて

- カセットテープを挿入するときにテープがゆるんでいると、誤動作を起こす場合があります。テープのゆるみをなおしてから挿入してください。
- テープヘッドやカセットテープに、磁石やドライバーなど、鉄類や磁石類は近づけないでください。
- C-120タイプのカセットテープは、テープが非常に薄く、伸びたり切れたりしますので、使用しないでください。
- ラベルのはがれたカセットテープやケースが変形しているカセットテープは、使用しないでください。故障の原因となります。
- 直射日光の当たるところには放置しないでください。
- 長時間使用しないときは、カセットテープを本機から抜き取り、ケースに入れてください。



取り扱い上のご注意

- 車内が極度に冷えた状態のとき、ヒーターを入れてすぐに本機を使用すると、CDや光学部品が曇って正常な動作を行わないことがあります。CDが曇っているときは、やわらかい布でふいてください。また光学部品が曇っているときは、1時間ほど放置しておく、自然に曇りがとれ、正常な動作に戻ります。
- 本機は精密な機構を使用しているため、万一異常が発生したときでも、絶対にケースを開けて分解したり、回転部分に注油したりすることはやめてください。
- CDを演奏中、振動の激しい悪路を走行すると、音飛びを起こすことがあります。
- 8cmシングルCDをイジェクトした状態で走行しないでください。走行中の振動により、ディスクが落下する恐れがあります。
- 本機のディスプレイ部(アクリル部品)の一部分に、細かいスジが見える場合があります。これは製造過程でやむを得ず生じるもので、「傷」や「ひび割れ」などではありません。また、本機の性能および安全性を損なうものではありません。

CDについて

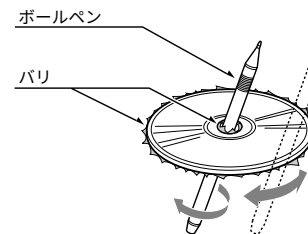


マークのついたCDをご使用ください。

また、ハート型や八角形など、特殊形状のCDは使用しないでください。

■ 取扱い上のご注意

- レーベル面(印刷面)に文字などを記入しないでください。
- セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕があるCDは使用しないでください。そのままCDプレイヤーに入れると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。
- ディスク面には、傷や指紋をつけないように扱ってください。
- 新しいCDには、ディスクの周囲に「バリ」が残っていることがあります。このようなCDをご使用になると、動作しなかったり音飛びの原因となります。CDにバリがあるときは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。



■ 保管時のご注意

次のような場所には保管しないでください。

- 直射日光の当たる場所
- 湿気やホコリの多い場所
- 暖房の熱が直接当たる場所

■ お手入れ

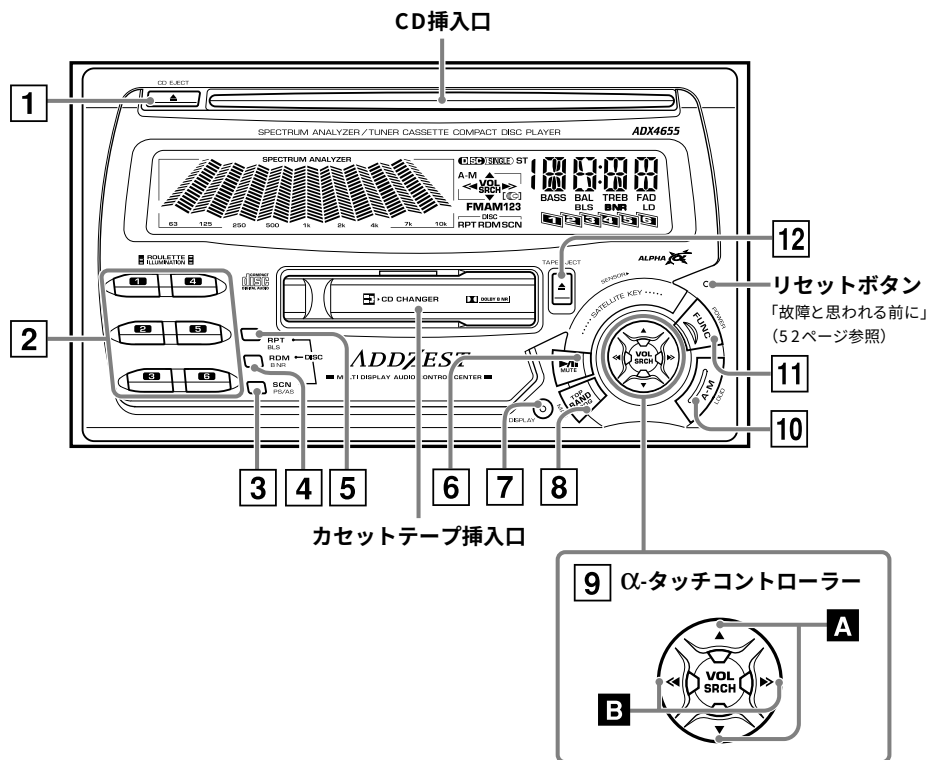
- 汚れたときには、やわらかい布で、内側から外側へ向かって、よくふいてください。
- 従来のレコードクリーナー液やアルコールなどでふかないでください。

⚠ 警告

本機を分解したり改造したりしないでください。事故や火災、感電の原因となります。

はじめに

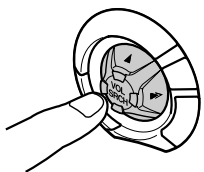
各部の名称とはたらき



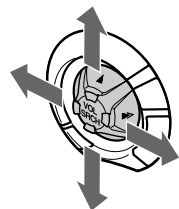
α-タッチコントローラーの操作

α-タッチコントローラーの使いかたは、本機の大切な基本操作です。まず最初に覚えてください。

1 α-タッチコントローラー
に指をあて



2 <<>>や▲▼を選択するに
は、4方向に押します



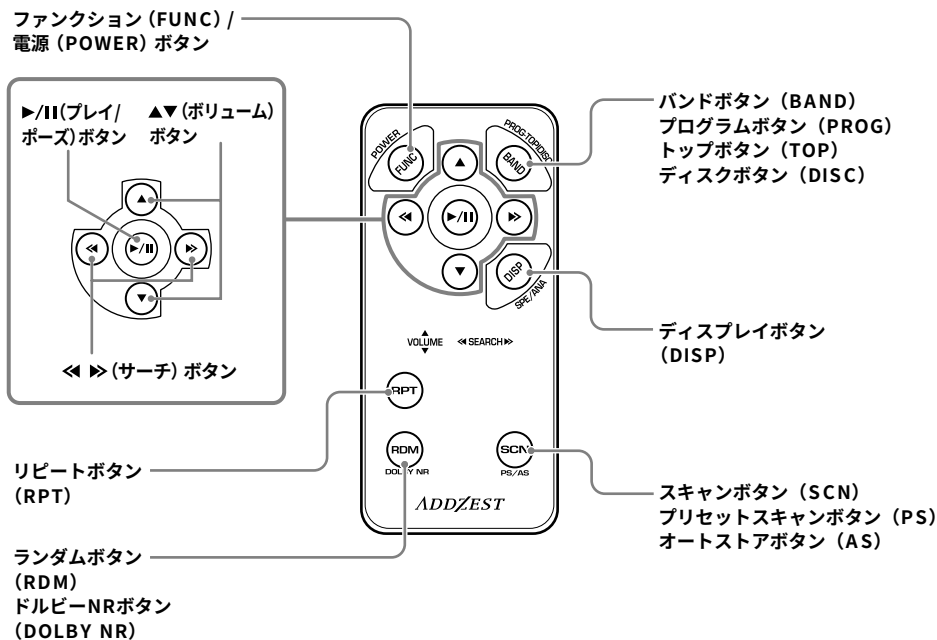
お願い α-タッチコントローラーを無理に回転させないでください。必要以上に力を加えると破損や故障の原因となります。

- CDイジェクトボタン(▲)**
 - すでにCDが入っているときに押すと、CDがイジェクトされます。
- ルーレットイルミボタン(1~6)**
 - 各モードでの動作状態をボタンのダブル照明で表現します。(ルーレットイルミ)
 - ラジオモード時には、放送局をメモリーして直接呼出します。
 - CDチェンジャーモード時には、CDを選択します。
 - ディスプレイボタンまたはバンドボタンと同時に押すことにより、各種設定を行います。
- スキャンボタン(SCN)**
プリセットスキャン/オートストアボタン(PS/AS)
 - テープモード、CDモード、CDチェンジャーモード時に、約10秒間ずつスキャン演奏します。
 - ラジオモード時に、自動的に放送局をメモリーしたり、メモリーされた放送局を確認できます。
- ランダムボタン(RDM)**
ドルビーNRボタン(DOLBY B NR)
 - CDモードまたはCDチェンジャーモード時には、ランダム演奏をします。
 - テープモード時には、ドルビーNR設定ボタンになります。
- リピートボタン(RPT)**
ブランクスキップボタン(BLS)
 - テープモード、CDモード、CDチェンジャーモード時に繰り返し演奏をします。
 - テープモード時に無録音部分をスキップします。
- プレイ/ポーズボタン(▶/⏸)**
ミュートボタン(MUTE)
 - テープモード、CDモード、CDチェンジャーモード時には演奏と一時停止をします。
 - ラジオモード時には消音します。

- ディスプレイボタン(DISPLAY)**
スペアナボタン(SPE/ANA)
 - ディスプレイ表示やスペアナ表示を切り換えます。
- バンドボタン(BAND)**
プログラムボタン(PROG)
トップボタン(TOP)
マガジンボタン(MAG)
 - ラジオモード時には、バンドを切り換えます。
 - テープモード時には、演奏面を切り換えます。
 - CDモード時には、最初の曲から演奏します。
 - CDチェンジャーモード時には、マガジンの切り換えとマガジンロックをします。
- α-タッチコントローラー**
 - ボリュームアップ(▲) / ボリュームダウン(▼)**
 - 音量の調節や、各種設定をします。
 - サーチコントロールアップ(>>) / サーチコントロールダウン(<<)**
 - ラジオモード時には、選局します。
 - テープモード、CDモード、CDチェンジャーモード時には、選曲します。
 - 各種設定をします。
- オーディオモードボタン(A-M)**
ラウドネスボタン(LOUD)
 - 音質とバランス/フェダーを調整します。
 - 押し続けると低音と高音を強調します。
- 電源ボタン(POWER)**
ファンクションボタン(FUNC)
 - 電源を入れ、各モードに切り換えます。電源を切るときは押し続けます。(約1秒間)
- テープイジェクトボタン(▲)**
 - すでにカセットテープが入っているときに押すと、カセットテープがイジェクトされます。

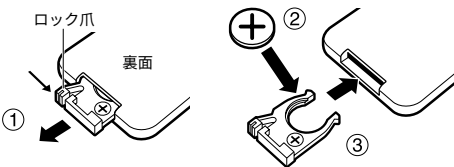
別販カードリモコン(RCB-116-500)の使いかた

各部の名称



電池の入れかた

- ① リモコンを裏返して、ロック爪を→の方向に押しながら、ふたを引き出します。
- ② 電池(CR2025)を、⊕を上にして入れます。
- ③ 「カチッ」と音がするまで、ふたを押し込みます。



警告

事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一お子さまが飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

注意

使用を誤ると、電池の破裂や液漏れにより、ケガや火災、周囲を汚染する原因となりますので、以下の注意事項をお守りください。

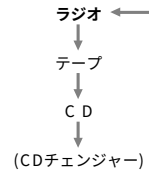
- ・指定電池以外は使用しない。
- ・電池を交換するときは、極性の向きを間違えないように正しく入れる。
- ・電池を加熱したり、火や水の中に入れない。また、分解しない。
- ・使用済みの電池は、定められた場所に廃棄する。

ラジオの操作

モードを選ぶ

電源/ファンクションボタン

- 電源が入ります。また、押すたびにモードが切り換わります。



押し続ける(約1秒間)と、電源が切れます。

音量を調節する

▲▼ボタン

〈参考〉

DSP(DPS7450など)を接続したときは、以下の操作を行ってください。

本機にリモコンの届かない範囲で、リモコンのファンクションボタンを押しながら、▲ボタンを押し続け(2秒間)ます。押すたびに、センターユニットまたはDSPの音量調節に切り換えることができます。

バンドを選ぶ

バンドボタン

- 受信バンドを切り換えます。

選局する

◀▶ボタン

- メモリーした放送局を呼び出します。

音を消す

▶/IIボタン

- ミュート(消音)機能をON/OFFします。

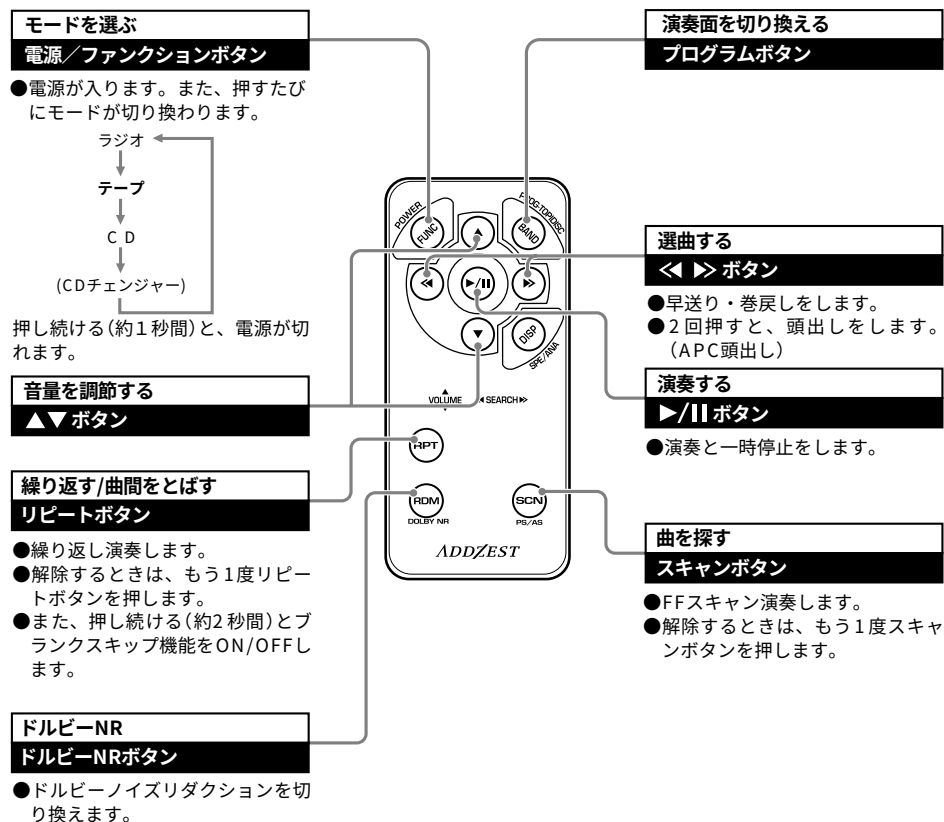
放送局をプリセットする

PS/ASボタン

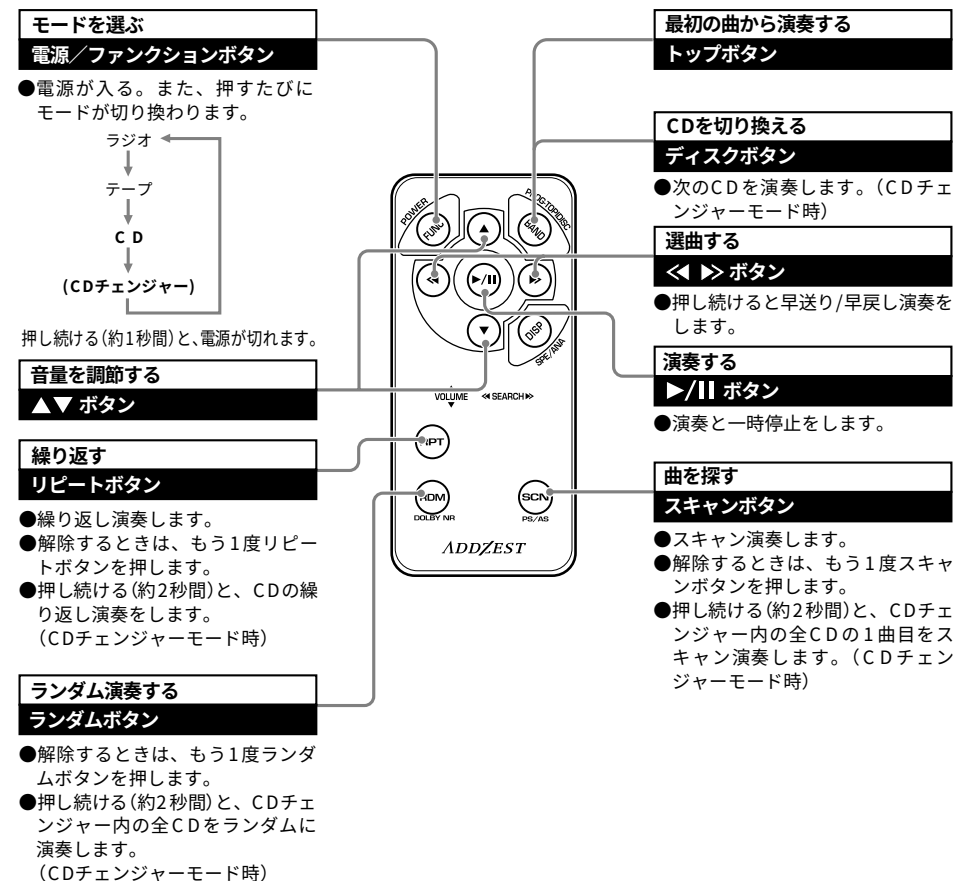
- プリセットした放送局を確認られます。(プリセットスキャン)
- また、押し続ける(約2秒間)と放送局を自動的にメモリーします。
- 解除するときは、もう1度PS/ASボタンを押します。

カードリモコンの使いかた

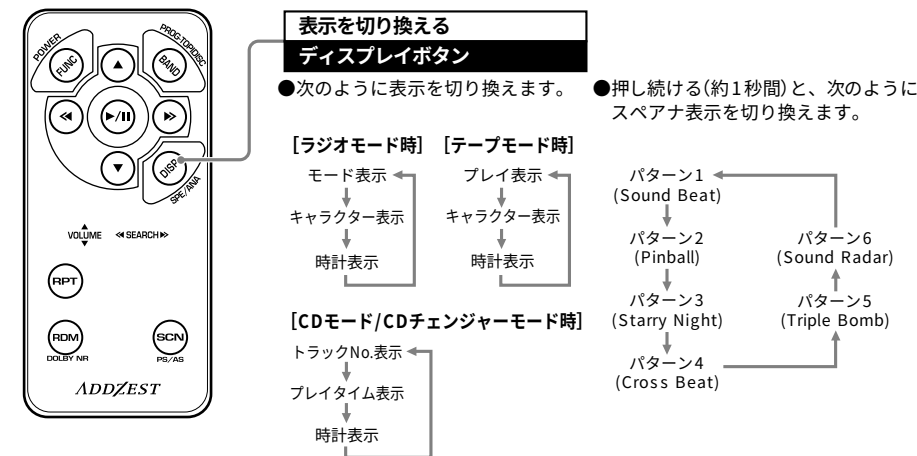
カセットテープの操作



CDの操作(CDチェンジャーの操作)



表示を切り換える



準備する

電源を入れる	14
音量を調節する	14
モードを選ぶ	14
表示を切り換える	15
音質を調整する	16
ラウドネス効果をON/OFFする	16
バランス、フェダーを調整する	17
スペアナを楽しむ	18
スペアナパターンを切り換える	18
感度を切り換える(SPEANA SENS)	18
スペアナパターンについて	19
時刻を合わせる	20

ラジオ放送を聴く

ラジオモードを選ぶ	21
選局する	21
AMステレオを切り換える	22
音を消す(ミュート)	22
自動選局/手動選局する	23
自動選局する(SEEK選局)	23
手動選局する(MANUAL選局)	23
放送局をメモリーする(プリセットメモリー)	24
プリセットメモリーする	24
自動メモリーする(オートストア機能)	25
聴きたい放送を探す(プリセットスキャン)	25

カセットテープを聴く

カセットテープを入れる	26
すでに入っているカセットテープを聴く	27
カセットテープの演奏面を切り換える	27
早送り/巻戻しする	28
曲の頭出しをするには(APC機能)	28
ドルビーノイズリダクションで録音されたカセットテープを聴く(ドルビーNR)	29
聴きたい曲を探す(FFスキャン演奏)	29
曲間をとばして聴く(ブランクスキップ)	30
繰り返し聴く(リピート演奏)	30

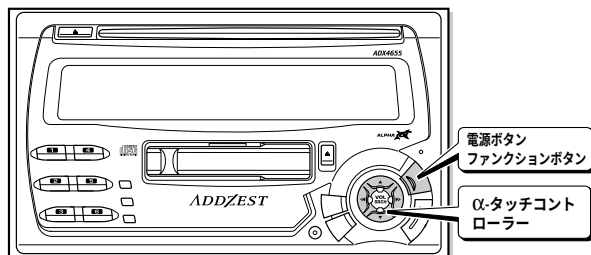
CDを聴く

CDを入れる	31
すでに入っているCDを聴く	32
曲を選ぶ	33
早送り/早戻しする	34
最初の曲から聴く(トップ機能)	34
聴きたい曲を探す(スキャン演奏)	35
繰り返し聴く(リピート演奏)	35
ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)	36

設定する

ルーレットイルミ表示のON/OFFを切り換える	37
ルーレットイルミボタンの照明色を切り換える	37
操作音(BEEP)のON/OFFを切り換える	38
DSPを接続したときには	38
イコライザーを接続したときには	38

準備する



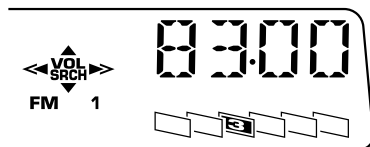
電源を入れる

- バッテリーあがり防止のため、本機の操作は、できるだけエンジンをかけた状態で行ってください。
- 時刻の設定は、20ページをご覧ください。

前回の操作終了時のモードが表示されます。

電源を切るときは...
電源ボタンを押し続ける。
(約1秒間)

電源ボタンを押す



<ラジオモード時の表示例>

音量を調節する

α-タッチコントローラーを▲または▼方向に押す



→ 大きくなります。



→ 小さくなります。

注意

運転中は車外の音が聞こえる程度の音量にしてください。

- 接続していない機器のモードは表示されません。
- カセットテープが入っていないときには「CASS」が点滅します。
- CDが入っていないときや、CDチェンジャーモード時にチェンジャーにCDやマガジンが入っていないときには、「DISC」が点滅します。

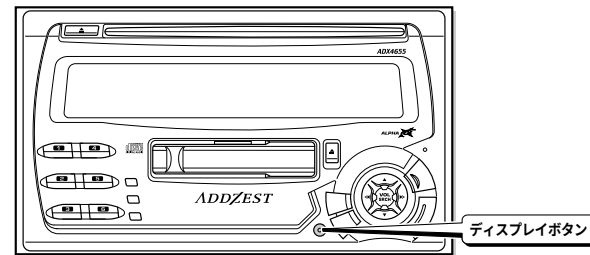
モードを選ぶ

ファンクションボタンを押す



→ 押すたびに、右のように切り換わります。

表示を切り換える

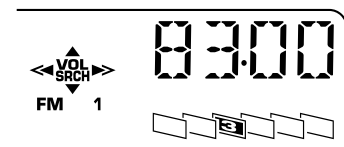


ディスプレイボタンを押して、表示を選ぶ

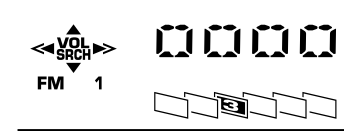


→ 押すたびに、次のように切り換わります。(ラジオモードの場合)

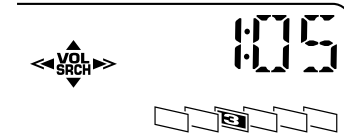
周波数表示



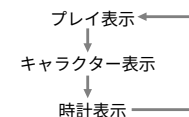
キャラクター表示



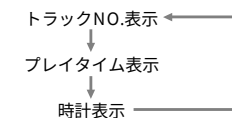
時計表示



テープモードの場合には、次のように表示されます。

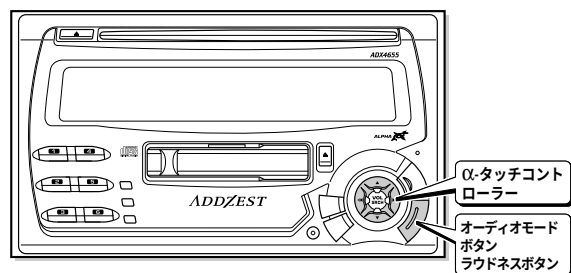


CDモード時、CDチェンジャーモード時には、次のように表示されます。



時計表示を選択したときに、他のボタン操作を行うと、選択されたモードの表示に切り換わりますが、約4秒後に時計表示に戻ります。

音質を調整する



1 オーディオモードボタンを押して、BASS/TREB(バス/トレブル調整)を選ぶ

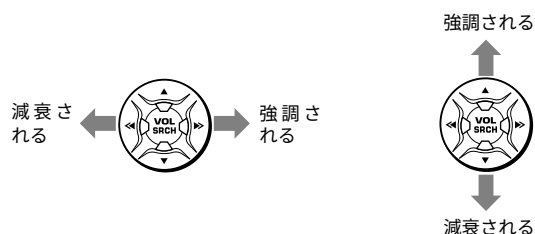


→ 押すたびに、右のように切り換わります。

2 α-タッチコントローラーで調整する

<低音部(BASS)の調整>

<高音部(TREB)の調整>



→ 約7秒後に元の表示に戻ります。

ラウドネス効果をON/OFFする

ラウドネスボタンを押し続ける(約2秒間)

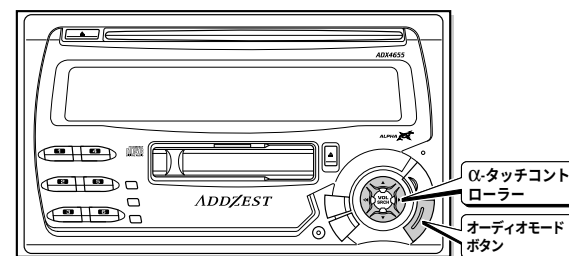


小音量でお聴きになるときは...
小音量でお聴きになるときは、低音と高音を強調するラウドネスの自然な音質をおすすめします。

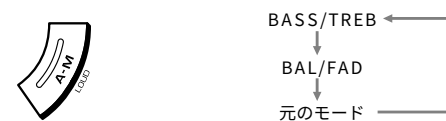
OFFにするには、もう1度押し続け(約2秒間)ます。

→ ONになると、「LD」が点灯してラウドネスの効いた音になります。

バランス、フェダーを調整する



1 オーディオモードボタンを押して、BAL/FAD(バランス/フェダー調整)を選ぶ



→ 押すたびに、右のように切り換わります。

2 α-タッチコントローラーで調整する

<左右のスピーカー(BAL)の調整>

左のスピーカーの音が強調される

右のスピーカーの音が強調される



<前後のスピーカー(FAD)の調整>

前のスピーカーの音が強調される

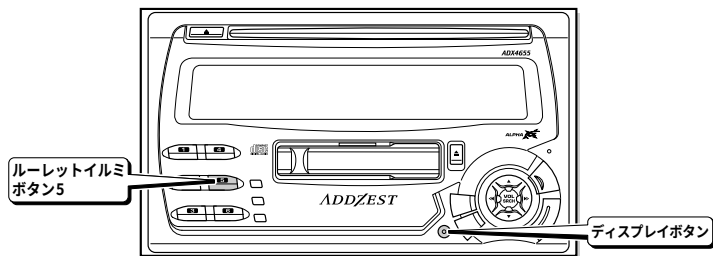
後ろのスピーカーの音が強調される



→ 約7秒後に元の表示に戻ります。

スペアナを楽しむ

スペクトラムアナライザ(スペアナ)とは周波数分析のことで、いくつかの周波数のサウンドレベルをディスプレイに表示します。本機は、6種類のパターンから、お好みにより選ぶことができます。



スペアナパターンを切り換える

ディスプレイボタンを押し続ける(約1秒間)

スペクトラムアナライザのサウンドレベル表示は、次のようなときには表示しません。

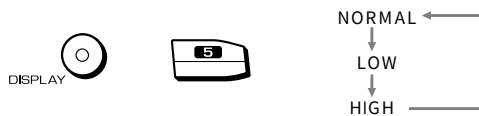
- ラジオモード時のシーク選局中、プリセットスキャン中、オートストア中。
- テープモード時の早送り/巻戻し中、APC 頭出し、FFスキャンの早送り中や「CASS」表示中。
- CDモード時、CDチェンジャーモード時のスキャン演奏中、早送り/早戻し中、「DISC」表示中。
- エラー表示中。
- 消音(ミュート)中、一時停止中。



感度を切り換える(SPEANA SENS)

ディスプレイボタンを押しながら、ルーレットイルミボタンの5を押す

スペクトラムアナライザの感度について...
スペクトラムアナライザの感度(SENSITIVITY)は、パターン表示の感度です。感度を切り換えることで音量が変わることはありません。



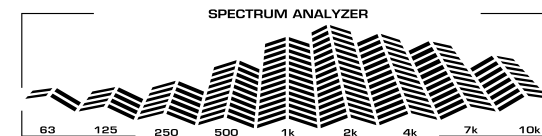
→ 押すたびに、右のように切り換わります。

初期設定は「NORMAL」です。

スペアナパターンについて

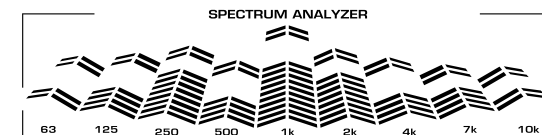
パターン1 (Sound Beat)

各周波数のサウンドレベルが、下から上に、まるで生きているかのように躍動します。



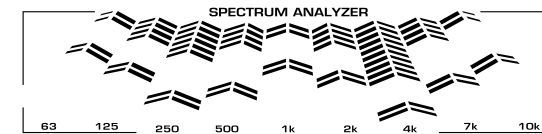
パターン2 (Pinball)

サウンドレベルのピーク値が次々とサウンドレベルのピーク値に押し上げられて、ピンボールのように跳ね上がります。



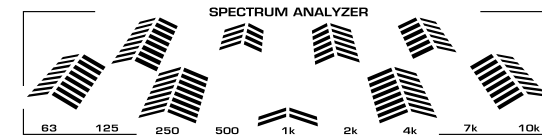
パターン3 (Starry Night)

各周波数のサウンドレベルが、上から下へ、夜空の星屑のように降りそそぎます。



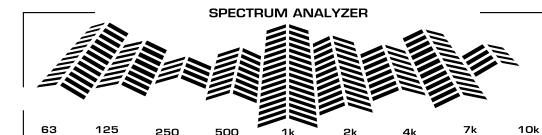
パターン4 (Cross Beat)

サウンドレベルが交互に表示されます。



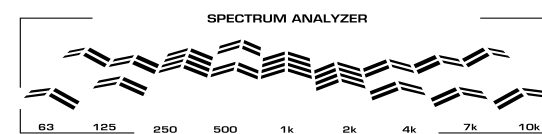
パターン5 (Triple Bomb)

低音、中音、高音のサウンドレベルが、爆発するように表示されます。



パターン6 (Sound Radar)

各周波数のサウンドレベルを上から下にスキャンして、スキャンしたサウンドレベルのピーク値を表示します。



時刻を合わせる

時計表示について
本機は、車のエンジン作
動時(ACC ON時)に時
計を表示します。
時計は12時間表示で
す。

1 ディスプレイボタンを押して、時計表示を選ぶ



2 バンドボタンを押しながら、ルーレットイルミボタンの4を押す



12:25

→ 時刻設定モードになります。

3 α-タッチコントローラーを◀または▶方向に押して、時または分を選ぶ



点滅している項目を調整で
きます。

4 α-タッチコントローラーを▲または▼方向に押して時刻を合わせる

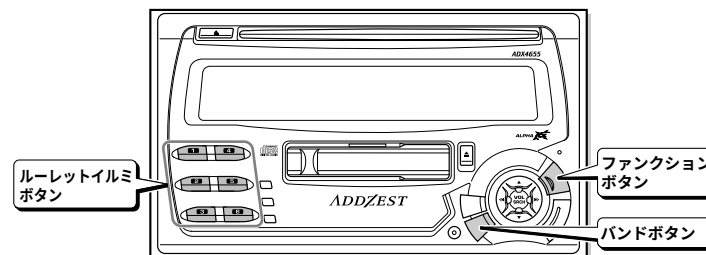


5 バンドボタンを押す



→ 時刻が設定されます。

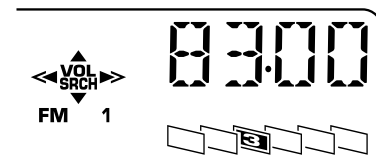
ラジオ放送を聴く



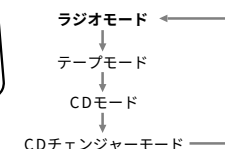
プリセット選局につい
て
あらかじめメモリーし
てある放送局を選局す
る機能です。

ラジオモードを選ぶ

1 ファンクションボタンを押して、ラジオモードを選ぶ

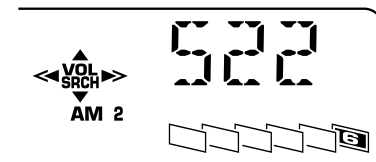


ファンクションボタンを押
すたびに、モードが切り換
わります。(接続していない
機器のモードは表示しま
せん)

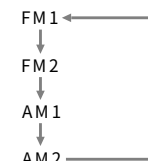


選局する

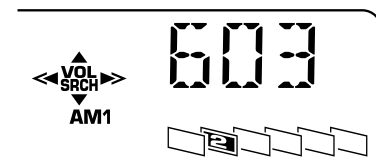
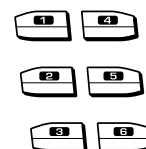
2 バンドボタンを押して、FM1、FM2またはAM1、AM2を選ぶ



バンドボタンを押すた
びに、バンドが切り換わり
ます。



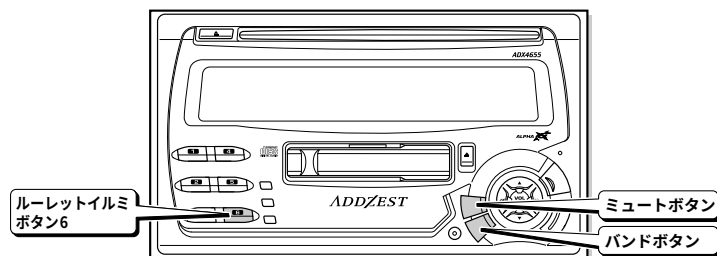
3 ルーレットイルミボタン(1から6)を押して、聴きたい放送局を選ぶ



メモリーするときは、「放
送局をメモリーする」(24
ページ)をご覧ください。

<ルーレットイルミボタン2を押した場合の表示例>

ラジオ放送を聴く



AMステレオを切り換える

初期設定は「STEREO」です。

- 1 バンドボタンを押して、AMバンド(AM1またはAM2)を選ぶ



受信したい放送局の電波が弱い場合などは、「MONO」(モノラル)に設定すると、より良好な受信ができます。

- 2 バンドボタンを押しながら、ルーレットイルミボタンの6を押す



AMステレオに戻すには...
もう1度バンドボタンを押しながらルーレットイルミボタンの6を押すと、ディスプレイに「AM ST」と表示され、AMステレオに設定されます。

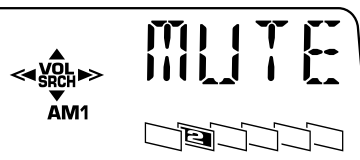
→「AM Mono」と表示され、AMモノラル放送に設定されます。

音を消す(ミュート)

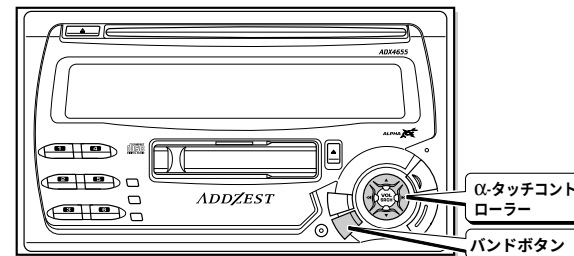
ミュートボタンを押す



もとの音量に戻すには...
もう1度ミュートボタンを押します。



自動選局/手動選局する



- 1 バンドボタンを押して、FM1、FM2またはAM1、AM2を選ぶ

自動選局する(SEEK選局)

- 2 「SRCH」が消灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約2秒間)

→「SRCH」が点灯すると、自動選局です。

- 3 α-タッチコントローラーを<<または>>方向に押す



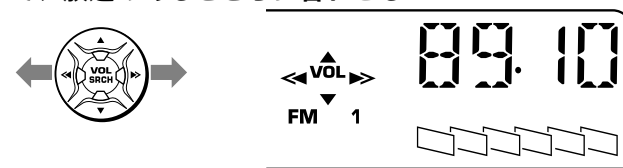
→ 放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

手動選局する(MANUAL選局)

- 2 「SRCH」が点灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約2秒間)

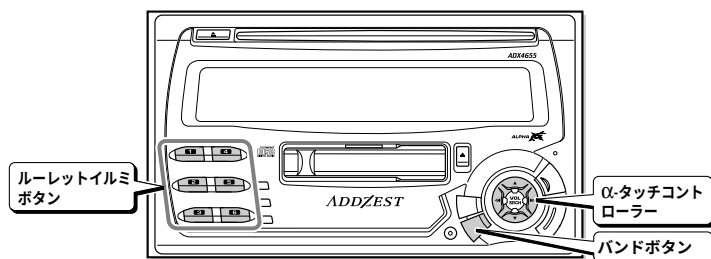
→「SRCH」が消灯すると、手動選局です。

- 3 α-タッチコントローラーを<<または>>方向に押し、放送のあるところに合わせる



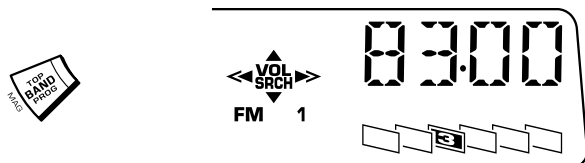
放送局をメモリーする(プリセットメモリー)

プリセットメモリーについて
プリセットメモリーできるのは、FM1、FM2、AM1、AM2各6局、合計で24局です。



プリセットメモリーする

- 1 バンドボタンを押して、メモリーしたいバンド (FM1、FM2またはAM1、AM2)を選ぶ

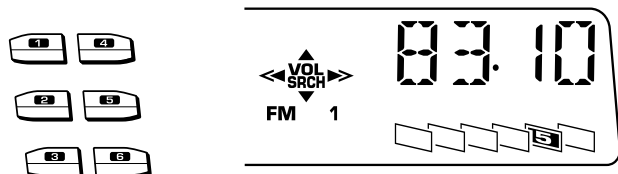


- 2 α-タッチコントローラーを◀または▶方向に押して、メモリーしたい放送局を選ぶ



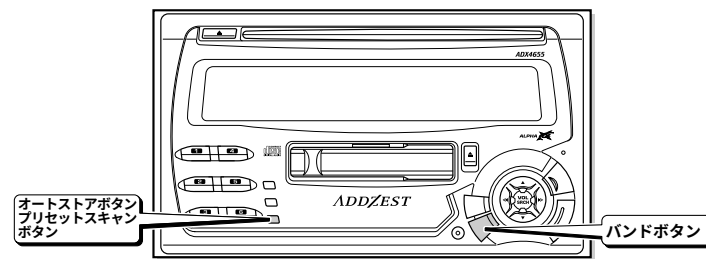
選局については、「自動選局/手動選局する」(23ページ)をご覧ください。

- 3 メモリーさせたいルーレットイルミボタン(1~6)を押し続ける(約2秒間)



<ルーレットイルミボタン5を押した場合の表示例>

→ メモリーされると、ルーレットイルミボタンの番号が点灯し、「ピー」と鳴ります。



オートストア機能について
自動受信した放送局を、自動的にプリセットメモリーします。

自動メモリーする(オートストア機能)

- 1 バンドボタンを押して、メモリーさせたいバンド (FM1、FM2またはAM1、AM2)を選ぶ



- 2 オートストアボタンを押し続ける(約2秒間)



→ 自動的に、受信電波の強い放送局がルーレットイルミボタン(1~6)にメモリーされていきます。

•自動メモリーをすると、これまでメモリーされていた放送局は消去されます。
•メモリーできる放送局が6局に満たない場合は、低い周波数に戻ってからメモリーします。また、自動メモリーを2回繰り返しても6局に満たない場合は、メモリーされなかったルーレットイルミボタンにはそれまでのメモリー内容が残っています。
•すでにメモリーされている放送局を、別のルーレットイルミボタンにメモリーすることはありません。

放送を確かめる(プリセットスキャン)

プリセットスキャンボタンを押す



→ メモリーしている放送局を、順に約7秒間ずつ受信します。また受信できない放送局はとばして、次の放送局を受信します。

ご注意

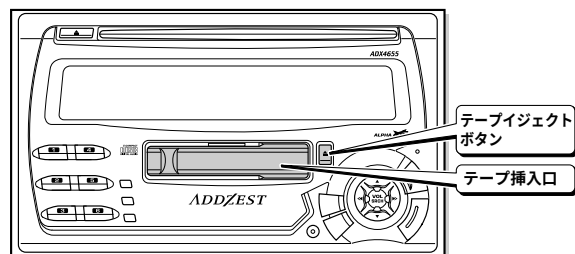
プリセットスキャンボタンを押し続ける(約2秒間)と、オートストア機能になります。ご注意ください。

プリセットスキャンを解除するには..
もう1度、プリセットスキャンボタンを押してください。ボタンを押していたときに受信していた放送局を受信します。

カセットテープを聴く

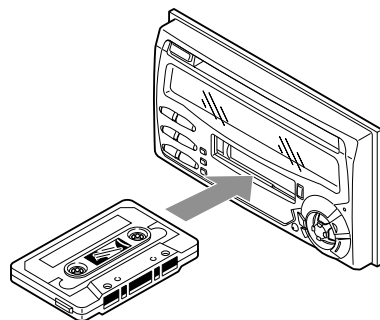
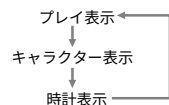
⚠ 注意

テープ挿入口に手や指を入れないでください。また異物を入れないでください。
また、変形しているカセットテープは使用しないでください。



- カセットテープは、テープ面を右側にして入れてください。
- すでにカセットテープが入っていると、入れられません。無理に入れないでください。

ディスプレイボタンを押すたびに、表示が切り換わります。(テープモード時)



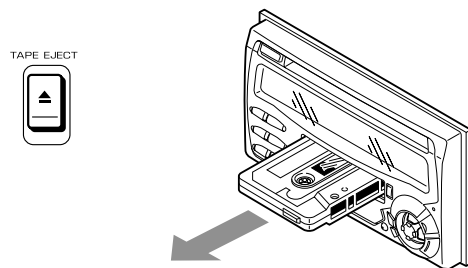
→ テープ挿入口のドアが閉まり、演奏がはじまります。

カセットテープを入れる

テープ挿入口にカセットテープを入れる

カセットテープを取出すには

テープイジェクトボタンを押す



→ テープ挿入口のドアが開き、テープがイジェクトされます。

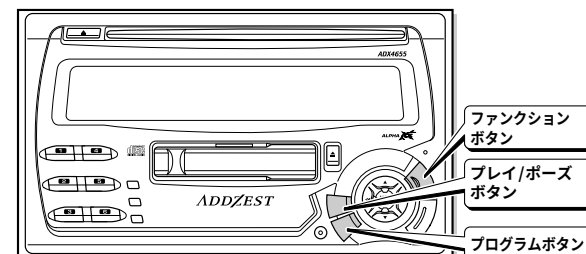
オートメタルセレクト機能について...
メタル・クロームテープ (70 μsec) を入れると、自動的にメタルテープに対応します。(ディスプレイ表示はしません)

ルーレットイルミ表示

カセットテープが入っていないときは、ルーレットイルミは点灯しません。

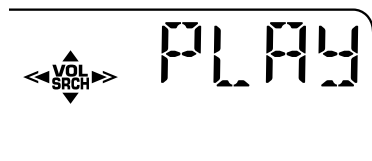
オートシャットドア機能について...

カセットテープの挿入/排出時に自動的にドアが閉まり、ゴミやホコリからテープメカニズムを守ります。



すでに入っているカセットテープを聴く

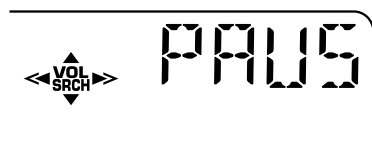
ファンクションボタンを押して、テープモードを選ぶ



→ テープモードになると、自動的に演奏がはじまります。

演奏を止める(一時停止する)には

プレイ/ポーズボタンを押す

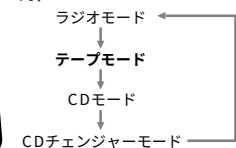


カセットテープの演奏面を切り換える

プログラムボタンを押す



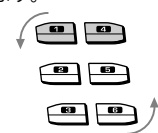
ファンクションボタンを押すたびに、モードが切り換わります。(接続していない機器のモードは表示しません)



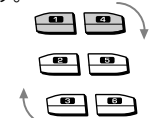
続けて演奏を聴きたいときには...
もう1度、プレイ/ポーズボタンを押してください。

ルーレットイルミ表示

カセットテープの上面を演奏(フォワード再生)しているときは反時計回りに点灯します。



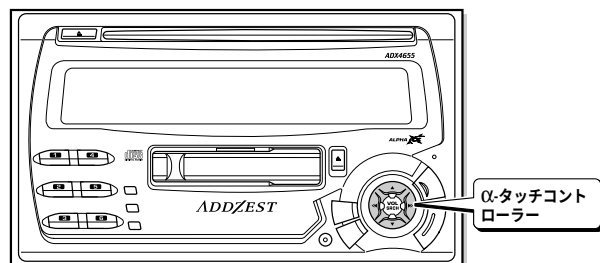
カセットテープの下面を演奏(リワインド再生)しているときは時計回りに点灯します。



オートリバース機能について...

テープが終端になると、自動的に演奏面が切り換わります。

カセットテープを聴く



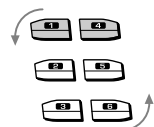
曲の頭出しをするには...
(APC機能:Auto Program Control)

- α-タッチコントローラーを▶方向に続けて2回押すと、ディスプレイに「APC」を表示し、次の曲の頭から演奏をはじめます。(F-APC)
- α-タッチコントローラーを◀方向に続けて2回押すと、ディスプレイに「APC」を表示し、いま聴いている曲の頭から演奏をはじめます。(R-APC)
- 頭出しを中止するときは、もう1度α-タッチコントローラーを◀または▶方向に押すか、プレイ/ポーズボタンを押してください。

モニター機能について...
テープの早送り/巻戻し中や、頭出し中、APC動作中に他のモードに切り換えた場合、テープメカはこれらの動作が終了してから止まります。

ルーレットイルミ表示

早送り/巻戻し、APC機能頭出し、FFスキャン、リピート演奏での巻戻し、ブランクスキップの早送りをしているときは、ルーレットイルミが早回しで点灯します。



早送り/巻戻しする

早送りするときには、α-タッチコントローラーを▶方向に押す

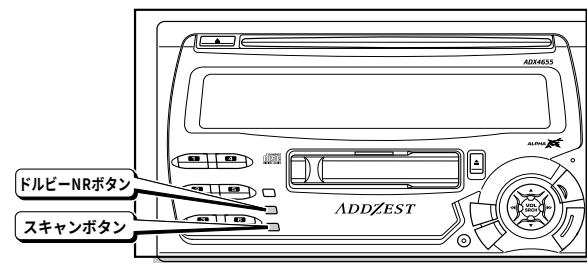


→ テープが早送りされ、終端になると、自動的に裏面の演奏をはじめます。

巻戻しするときには、α-タッチコントローラーを◀方向に押す



→ テープが巻き戻され、始端になると、自動的に演奏をはじめます。



ドルビーノイズリダクションシステムについて
録音時に高い周波数部分のレベルを上げ、演奏時に元に戻すことで、カセットテープ特有の「サー」というノイズ音を小さくするシステムです。

ドルビーノイズリダクションで録音されたカセットテープを聴く(ドルビーNR)

ドルビーNRボタンを押す



→ ディスプレイに「B NR」が点灯して、ドルビーノイズリダクションが設定されます。

■ドルビーNRを解除するには

もう1度ドルビーNRボタンを押して、「B NR」表示を消す

聴きたい曲を探す(FFスキャン演奏)

スキャンボタンを押す



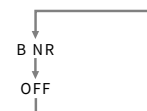
→ ディスプレイに「SCN」が点灯して、カセットテープに録音されている曲が約10秒間ずつ演奏されます。

■探している曲が演奏されたら

もう1度、スキャンボタンを押す

→ ディスプレイの「SCN」が消灯して、その曲が演奏されます。

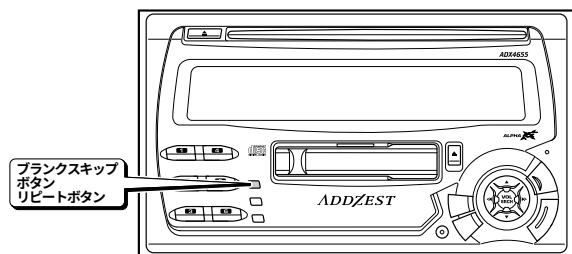
ドルビーNRボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



ドルビーノイズリダクションは、ドルビーラバトリーズライセンスングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。
ドルビー、DOLBYおよびダブルD記号は、ドルビーラバトリーズライセンスングコーポレーションの商標です。

カセットテープを聴く

ブランクスキップについて
カセットテープ演奏中に無録音部分が約12秒以上続くと、自動的にテープを早送りして、録音されている部分を頭出しする機能です。



曲間をとばして聴く(ブランクスキップ)

ブランクスキップボタンを押し続ける(約2秒間)

ブランクを検出して早送りしているときにブランクスキップを解除した場合は、演奏をはじめます。



→ ディスプレイに「BLS」が点灯し、約12秒以上の無録音部分をスキップします。また、スキップした後は、ブランクスキップの待機状態になります。

■ブランクスキップを解除するには

もう1度ブランクスキップボタンを押し続けて(約2秒間)、「BLS」表示を消す

繰り返し聴く(リピート演奏)

リピートボタンを押す



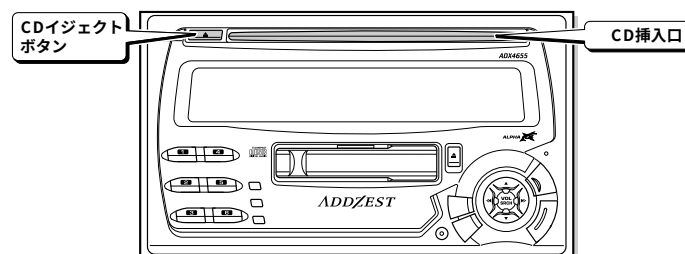
→ ディスプレイに「RPT」が点灯し、いま演奏している曲が繰り返し演奏されます。

■通常の演奏に戻すには

もう1度、リピートボタンを押す

→ ディスプレイの「RPT」が消灯して、演奏している曲から通常の演奏になります。

CDを聴く

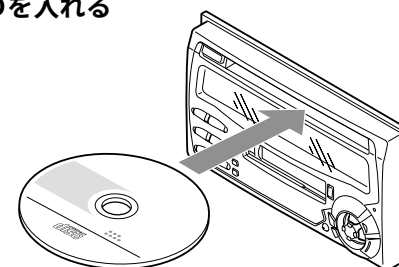


⚠注意

- CD挿入口に手や指を入れないでください。また、異物を入れないでください。
- セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出していたり、はがした痕があるCDは入れないでください。CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

CDを入れる

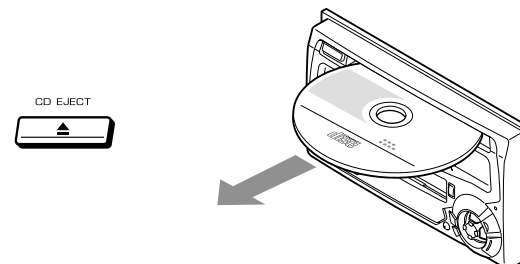
CD挿入口にCDを入れる



→ 演奏がはじまります。

■CDを取出すには

CDイジェクトボタンを押す



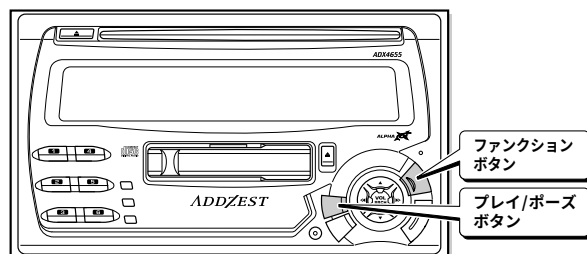
⚠注意

オートリロード前に無理にCDを押し込むと、ディスク表面にキズのつく恐れがあります。

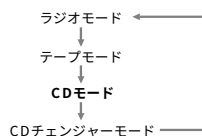
シングルCD(8cmCD)について...

- シングルCDはアダプターなしで演奏してください。
- シングルCDを入れるときには、CD挿入口の右寄りから入れてください。
- シングルCDの演奏中には、ディスプレイに「DISC SINGLE」が点灯します。
- シングルCDの場合はオートリロードされませんので、イジェクトしたときにはシングルCDを取り出してください。

CDを聴く



ファンクションボタンを押すたびに、モードが切り換わります。(接続していない機器のモードは表示しません)

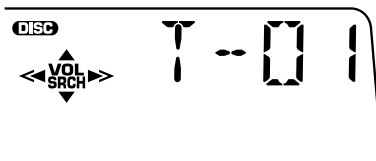


すでに入っているCDを聴く

ファンクションボタンを押して、CDモードを選ぶ



→ CDモードになると、自動的に演奏が始まります。



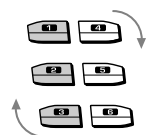
ルーレットイルミ表示

CDが入っていないときは、ルーレットイルミは点灯しません。

続けて演奏を聴きたいときには...
もう1度、プレイ/ポーズボタンを押してください。

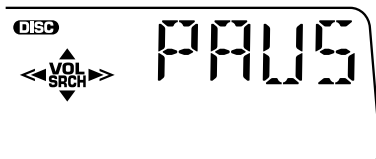
ルーレットイルミ表示

CDを演奏しているときは、時計回りに点灯します。



■演奏を止める(一時停止する)には

プレイ/ポーズボタンを押す

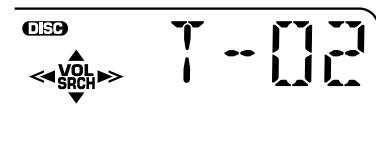


曲を選ぶ

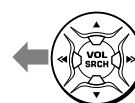
次の曲を聴きたいときには、α-タッチコントローラーを▶方向に押す



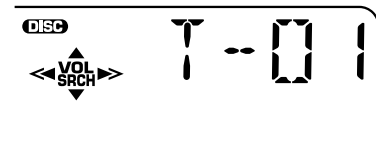
→ 次の曲が演奏されます。また押した回数だけ先の曲が演奏されます。



前の曲を聴きたいときには、α-タッチコントローラーを◀方向に2回押す



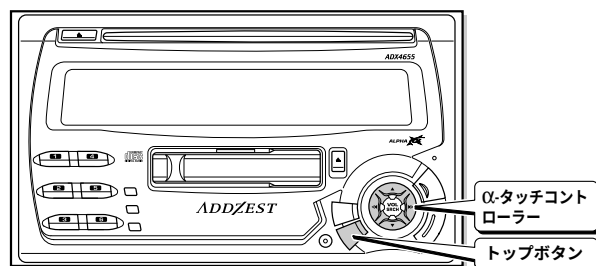
→ ◀方向に1回押すと、演奏中の曲を最初から演奏します。さらに押すと、押した回数だけ前の曲が演奏されます。



曲の頭部分を演奏しているときにα-タッチコントローラーを◀方向に2回押すと、2曲前の曲へ戻ることがあります。

CDを聴く

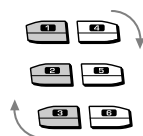
トップ機能について
CDモード時に演奏し
ているCDの最初の曲
から演奏をはじめます。



早送り/早戻しする

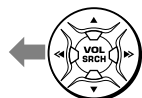
ルーレットイルミ表示

早送りをしているときは、時計回りに早回りで点灯します。また、早戻しをしているときは、反時計回りに早回りで点灯します。



早送りするときは、α-タッチコントローラーを▶▶方向に押し続ける

早戻しするときは、α-タッチコントローラーを◀◀方向に押し続ける

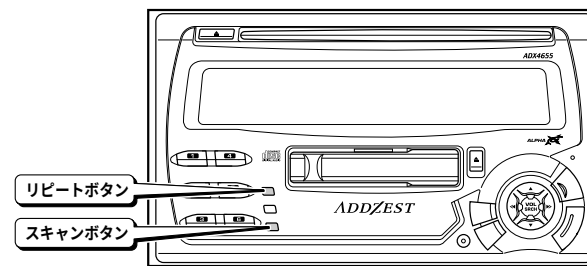


最初の曲から聴く(トップ機能)

トップボタンを押す



→ 最初の曲(トラックNo.1)から演奏されます。



スキャン演奏について
CDに収録されている
全曲を約10秒間ずつ
演奏します。

リPEAT演奏について
演奏中の曲を繰り返し
演奏します。

聴きたい曲を探す(スキャン演奏)

スキャンボタンを押す



→ ディスプレイに「SCN」が点灯し、曲の頭が約10秒間ずつ演奏されます。

■探している曲が演奏されたら

もう1度スキャンボタンを押す

→ ディスプレイの「SCN」が消灯し、いま演奏している曲が演奏されます。

繰り返し聴く(リPEAT演奏)

リPEATボタンを押す



→ ディスプレイに「RPT」が点灯し、いま演奏している曲が繰り返し演奏されます。

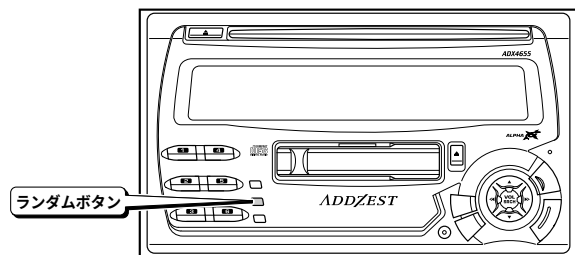
■通常の演奏に戻すには

もう1度、リPEATボタンを押す

→ ディスプレイの「RPT」が消灯して、演奏している曲から通常の演奏になります。

CDを聴く

ランダム演奏について
CDに収録されている
曲を順不同に演奏しま
す。



ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)

ルーレットイルミ表示

ランダム演奏の選曲時
には、ランダムに点灯しま
す。

ランダムボタンを押す



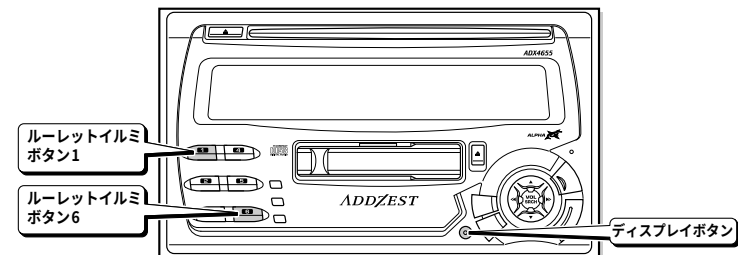
→ ディスプレイに「RDM」が点灯し、演奏しているCDの曲が順不同に演奏されます。

■ランダム演奏を解除するには

もう1度ランダムボタンを押す

→ ディスプレイの「RDM」が消灯し、いま演奏している曲から通常の演奏になります。

設定する



ルーレットイルミ表示 について

各モードでの動作状態
を、ルーレットイルミ
ボタンのダブル照明で
イメージグラフィック
スとして表現するこ
とを、ルーレットイルミ
表示といいます。

ルーレットイルミ表示のON/OFFを切り換える

ディスプレイボタンを押しながら、ルーレットイルミボタ
ンの6を押す



→ ONのときは「ROLL ON」、OFFのときは「ROLL OFF」と表示します。

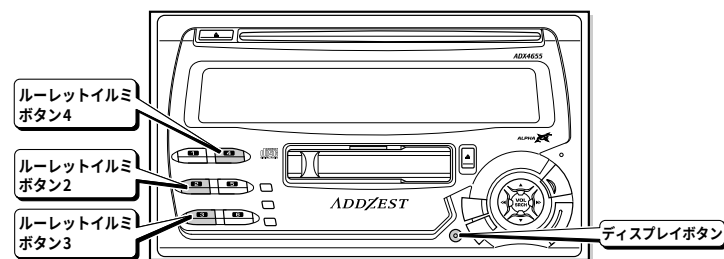
ルーレットイルミボタンの照明色を切り換える

ディスプレイボタンを押しながら、ルーレットイルミボタ
ンの1を押す



ルーレットイルミボタン
(1~6)の照明色を、グリー
ンとアンバーに切り換えら
れます。(ディスプレイや他
のボタンの照明色は変わり
ません)

設定する



操作音(BEEP)のON/OFFを切り換える

操作時に鳴る「ピッ」という音をBEEP音といいます。

ディスプレイボタンを押しながら、ルーレットイルミボタンの4を押す



→ ONのときは「BEEP ON」、OFFのときは「BEEP OFF」と表示します。

DSP(DPS7450など)を接続するときは、設定操作が必要です。

設定後は、操作の一部が異なります。

- ・音量調節は、DSP側で行います。
- ・本機での音量調節、音質調整(バス、トレブル、ラウドネス)、バランス、フェダー調整が行えなくなります。

解除するときは、もう1度手順2の操作をして「DSP No」を表示させます。

DSPを接続したときには

- 1 DSPの音量を最小にしてから、本機の音量を最大(Vol.33)にする
- 2 ディスプレイボタンを押しながらルーレットイルミボタンの2を押し、「DSP Conn」を表示させる



イコライザーを接続したときには

ディスプレイボタンを押しながら、ルーレットイルミボタンの3を押し、「EQ Conn」を表示させる



イコライザー(EQS7250など)を接続するときは、設定操作が必要です。

設定後は、本機での音質調整(バス、トレブル)が行えなくなります。

解除するときは、もう1度同じ操作をして「EQ No」を表示させます。

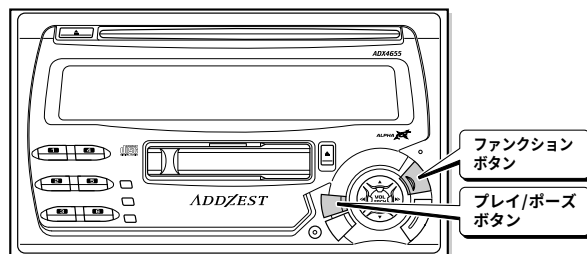
CDチェンジャーの操作

CDチェンジャーの操作

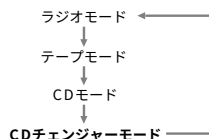
CDチェンジャーモードを選ぶ	40
聴きたいCDを選ぶ	41
曲を選ぶ	41
早送り/早戻しをする	42
聴きたいマガジンを選ぶ	43
1つのマガジンだけを聴く(マガジンロック)	43
スキラン演奏させる	44
ディスクスキャン演奏させる	44
リピート演奏させる	45
ディスクリピート演奏させる	45
ランダム演奏させる	46
ディスクランダム演奏させる	46

CDチェンジャーの操作

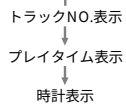
CDチェンジャーについて
本機は、別販のCDチェンジャーCDC634/CDC635を接続してコントロールできます。1つのマガジンには、6枚のCDが収納できます。



ファンクションボタンを押すたびに、モードが切り換わります。(接続していない機器のモードは表示しません)



- CDチェンジャーにマガジンが入っていないときや、マガジン内にCDが入っていないときには、「DISC」と点滅表示されます。
- ディスプレイボタンを押すたびに表示が切り換わります。(CDチェンジャーモード時)



続けて演奏を聴きたいときには
もう1度、プレイ/ポーズボタンを押してください。

ルーレットイルミ表示

CDチェンジャーにマガジンが入っていないときは、点灯しません。

CDチェンジャーモードを選ぶ

ファンクションボタンを押して、CDチェンジャーモードを選ぶ



→ CDチェンジャーモードになると、自動的に演奏がはじまります。

■演奏を止める(一時停止する)には

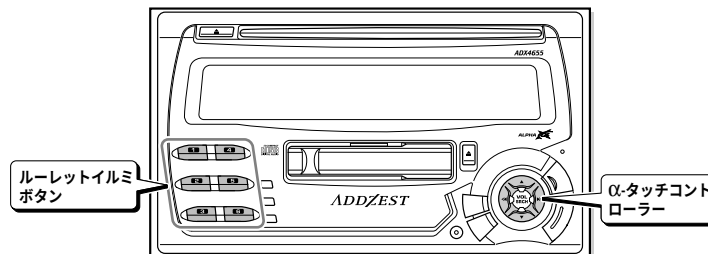
プレイ/ポーズボタンを押す



CD-ROMについて

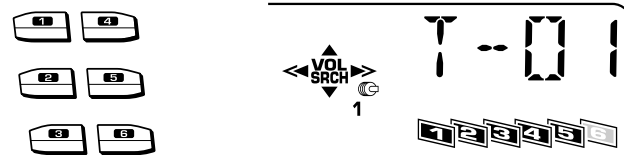
本機ではCD-ROMを操作できません。

- CDC634/CDC635を接続した場合は、音声部分のみ再生し、データ部分は無音になります。
- 上記以外のCDチェンジャーを接続した場合は、データ部分も再生するため、「サー」(ノイズ)音が出ます。



聴きたいCDを選ぶ

聴きたいCDを、ルーレットイルミボタン(1~6)で選ぶ



<ルーレットイルミボタン6を押した場合の表示例>

- マガジンにCDが入っていないときは、ルーレットイルミボタンを押しても受け付けません。
- 演奏中のCDをルーレットイルミボタンで選んだときは、そのCDの1曲目に戻って演奏します。

曲を選ぶ

次の曲を聴きたいときには、α-タッチコントローラーを▶方向に押す



→ 次の曲が演奏されます。また押した回数だけ先の曲が演奏されます。

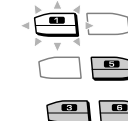
前の曲を聴きたいときには、α-タッチコントローラーを◀方向に2回押す



→ ◀方向に1回押すと、演奏中の曲を最初から演奏します。さらに押すと、押した回数だけ前の曲が演奏されます。

ルーレットイルミ表示

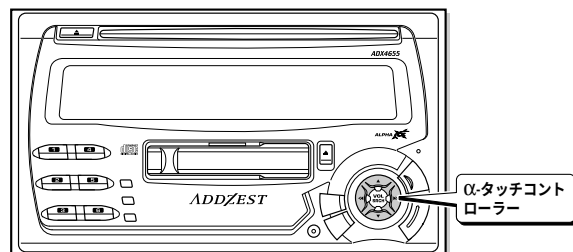
- 演奏しているディスクNo.のルーレットイルミボタンは点滅します。



- 演奏していないディスクNo.のルーレットイルミボタンは点灯します。
- マガジンにCDが入っていないディスクNo.のルーレットイルミボタンは点灯しません。

曲の頭部分を演奏しているときにα-タッチコントローラーを◀方向に2回押すと、2曲前の曲へ戻ることがあります。

CDチェンジャーの操作

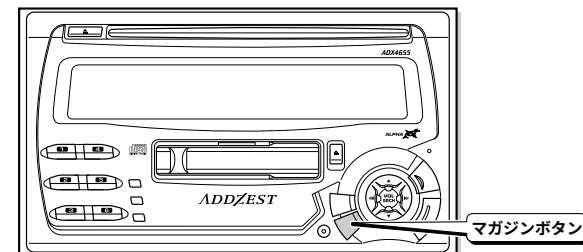
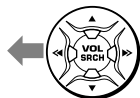


早送り/早戻しする

早送りするときには、α-タッチコントローラーを▶▶方向に押し続ける



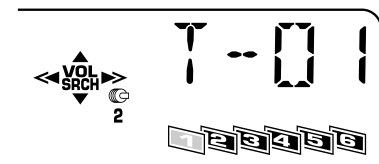
早戻しするときには、α-タッチコントローラーを◀◀方向に押し続ける



マガジンロックについて
複数のマガジンを収納できるCDチェンジャー(CDC1235)を接続している場合に、1つのマガジン内のCDだけを演奏する機能です。
ただし、リモコンではこの操作はできません。

聴きたいマガジンを選ぶ

マガジンボタンを押す



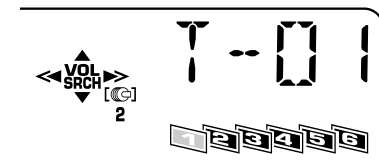
→ 次のマガジンに切り換わり、1枚目のCDの1曲目から演奏をはじめます。

マガジンボタンを押すたびに、マガジンが切り換わります。(CDC1235の場合)



1つのマガジンだけを聴く(マガジンロック)

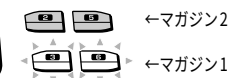
マガジンボタンを押し続ける(約2秒間)



→ ディスプレイに「【】」が点灯し、現在表示されているマガジンのみが演奏されます。

ルーレットイルミ表示

マガジン1を選択したときは、3と6が点滅します。また、マガジン2を選択したときは2と5が点滅します。



■マガジンロックを解除するには

もう1度マガジンボタンを押し続ける(約2秒間)

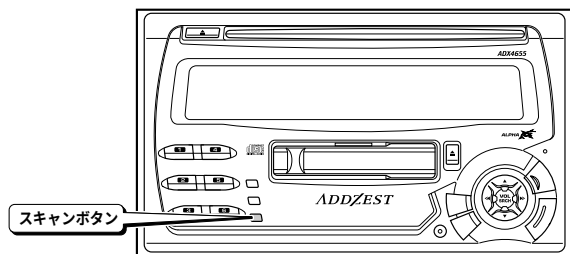
→ ディスプレイの「【】」が消灯し、通常の演奏になります。

- マガジンロック中でも、マガジンを選ぶことができます。選んだ後は、そのマガジンがマガジンロックされます。
- マガジンロックすると、スキャン演奏やランダム演奏はロックされたマガジン内で行われます。

CDチェンジャーの操作

スキャン演奏について
CDチェンジャー内の
CDの全曲を約10秒間
ずつ演奏します。

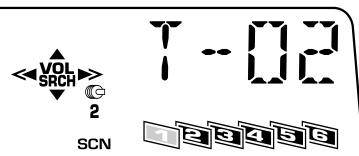
ディスクスキャン演奏
について
CDチェンジャー内の
全CDの最初の曲を約
10秒間ずつ演奏しま
す。



スキャン演奏させる

スキャンボタンを押す

スキャン演奏は、演奏して
いる曲の次の曲からはじま
ります。



→ ディスプレイに「SCN」が点灯し、CDチェンジャー内の全曲を約10秒間
ずつ演奏します。

■スキャン演奏を解除するには

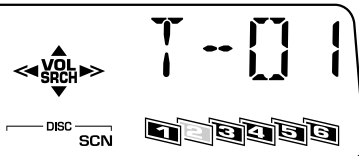
もう1度スキャンボタンを押す

→ ディスプレイの「SCN」が消灯し、いま演奏している曲から演奏します。

ディスクスキャン演奏させる

ディスクスキャン演奏は、
演奏しているCDの次の
CDからはじまります。

スキャンボタンを押し続ける(約2秒間)

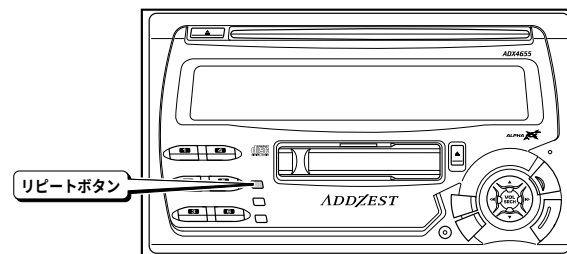


→ ディスプレイに「DISC」と「SCN」が点灯し、全CDの1曲目を約10秒間
ずつ演奏します。

■ディスクスキャン演奏を解除するには

もう1度、スキャンボタンを押す

→ ディスプレイの「DISC」と「SCN」が消灯し、いま演奏しているCDから演奏
します。

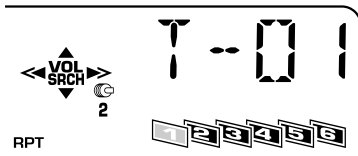


リピート演奏について
演奏中の曲を繰り返し
演奏します。

ディスクリピート演奏
について
演奏中のCDを繰り返
し演奏します。

リピート演奏させる

リピートボタンを押す



→ ディスプレイに「RPT」が点灯し、演奏している曲を繰り返し演奏します。

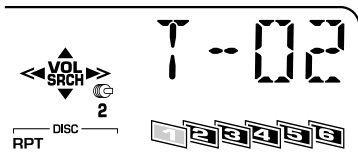
■リピート演奏を解除するには

もう1度リピートボタンを押す

→ ディスプレイの「RPT」が消灯し、通常の演奏になります。

ディスクリピート演奏させる

リピートボタンを押し続ける(約2秒間)



→ ディスプレイに「DISC」と「RPT」が点灯し、演奏中のCDを繰り返し演奏
します。

■ディスクリピート演奏を解除するには

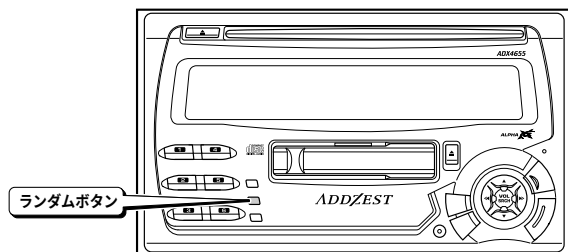
もう1度、リピートボタンを押す

→ ディスプレイの「DISC」と「RPT」が消灯し、通常の演奏になります。

CDチェンジャーの操作

ランダム演奏について
演奏中のCDの全曲を
順不同に演奏します。

ディスクランダム演奏
について
CDチェンジャー内の
CDの曲を順不同に演
奏します。

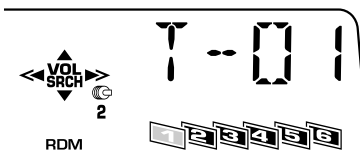


ランダム演奏させる

ルーレットイルミ表示

ランダム/ディスクランダム演奏の選曲時には、ランダムに点灯します。

ランダムボタンを押す



→ ディスプレイに「RDM」が点灯し、演奏しているCDの全曲を順不同に演奏します。

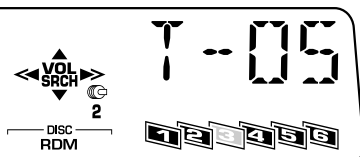
■ランダム演奏を解除するには

もう1度ランダムボタンを押す

→ ディスプレイの「RDM」が消灯し、いま演奏している曲から演奏します。

ディスクランダム演奏させる

ランダムボタンを押し続ける(約2秒間)



→ ディスプレイに「DISC」と「RDM」が点灯し、CDチェンジャー内のCDの曲を順不同に演奏します。

■ディスクランダム演奏を解除するには

もう1度、ランダムボタンを押す

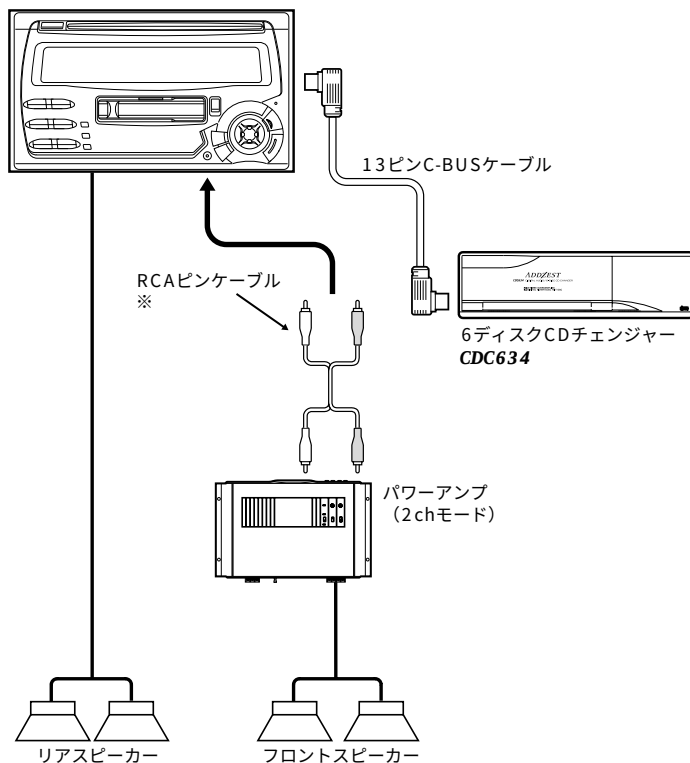
→ ディスプレイの「DISC」と「RDM」が消灯し、いま演奏している曲から演奏します。

その他

システム配線例	48
システムアップについて	49
アフターサービスについて	50
製品構成	51
故障と思われる前に	52
エラー表示について	53
仕様	54

■フルオーディオ+フロント外部アンプシステム

CDコントロールAM/FMチューナー付
CD/カセットデッキアンプ
ADX4655



※RCAピンケーブルは、それぞれの機種に付属しているもの、または別販
品(CCA-300<2m>、CCA-301<5m>)などをご使用ください。

システムアップについて

■CDチェンジャーとの接続

別販のCDチェンジャー(CDC634)を接続して、コントロールできます。

■CDデッキ、ビジュアルオーディオシステムユニットとの接続

C-BUSマークのついているCDデッキやビジュアルオーディオシステムユニットなど、外部機器を操作しているときには、本機のディスプレイに「ACCS」と表示されます。

上記機種の動作中、オーディオモードの調整は本機で行います。また、外部機器が動作中でも、ファンクションボタンを押すと本機の動作に切り換わります。

■別販C-BUS拡張ボックス(RCB-037)

CDチェンジャーとC-BUSマークのついているCDデッキなどを同時に接続する場合、別販のC-BUS拡張ボックスが必要です。

ただし、C-BUSマークのついているCDデッキとビジュアルシステムユニットなどを同時に接続することはできません。

■DSP、EQとの接続

DPS7450やEQS7250などと接続したときは、モード設定が必要です。(38ページ参照)

■ナビゲーションシステムとの接続

ナビゲーションシステムは、本機に接続されるビジュアルオーディオシステムと接続します。

詳しくは、テレビ、ナビゲーションのそれぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

アフターサービスについて

■保証書

この商品には、保証書が添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

■保証期間

お買い求めの日より1年間です。

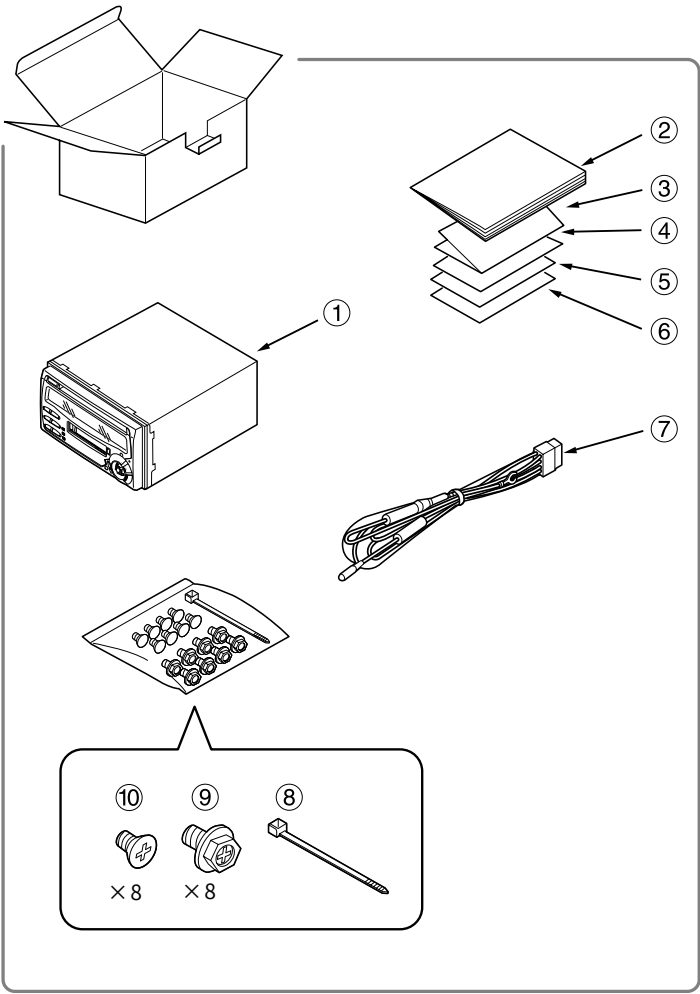
■万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。
お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

■保証期間経過後の修理について

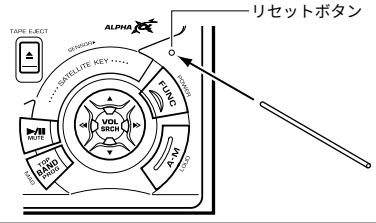
修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

製品構成



- ① 本体(ADX4655) 1部
- ② 取扱説明書 1部
- ③ 取付・結線ガイド 1部
- ④ 安全パンフレット 1部
- ⑤ 修理相談窓口リスト 1部
- ⑥ 保証書 1部
- ⑦ 電源コード 1本
- ⑧ リードクランプ 1本
- ⑨ セムス六角ボルト 8本
- ⑩ サラネジ(M5×8) 8本

故障と思われる前に

	現 象	原 因	処 置
共通	電源が入らない (音が出ない)	ヒューズが切れている	入っていたのと同じ容量(10A)のヒューズと交換してください。 再度切れる場合は、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		配線が不完全	お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
ラジオ	雑音が多い	放送局の周波数に合っていない	正しい周波数に合わせてください。
	自動選局で選局できない	強い電波の放送局がない	手動選局で選局してください。
テープ	音質が悪い	ヘッドが汚れている	ヘッドの汚れをクリーニングテープなどで取り除いてください。
		ドルビーNRが正しくはたらない	ドルビーNRシステムで録音されたカセットテープを聴くときは、ドルビーNRボタンを押してからお聴きください。
	再生の途中で、再生面が自動的に切りかわってしまう	カセットテープが粗雑に巻かれている	早送りや巻戻しをして、カセットテープの巻きを均一にしてください。
	頭出しが正しく動作しない	曲間の空きが約4秒間より少ない	約4秒間以上、曲間に空きがあるカセットテープを使用してください。
CD	CDが入らない	本機の中にCDが入っている	CDをイジェクトしてから入れてください。
	CDがすぐ出てしまう	CDを表裏逆に入れている	CDのレーベル面(タイトル等の印刷されている面)を上にして入れてください。
	音飛びする ノイズなどが入る	CDが汚れている	CDをやわらかい布でふいてください。
		CDに大きい傷やソリがある	CDを無傷なものに交換してください。
その他	電源を入れた直後、音が良くない	湿気の多い場所に駐車したため、内部のレンズに水滴がついている	電源を入れた状態で、約1時間乾燥させてください。
	ボタンを押しても動作しない ディスプレイが正確に表示しない	ノイズなどが原因でマイコンが誤動作している	本機の電源を切り、リセットボタンを細い棒などで約2秒間押してください。 
	ディスプレイに「エラー表示」が出る	自己診断機能がはたらき、障害が発生したことを知らせている	次ページの「エラー表示について」を参照して、内容を確認してください。

エラー表示について

本機はシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。
障害が発生したときには、各種のエラーが表示されますので、対処方法に従って障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作に復帰します。

エラー表示	原 因	対処方法
ER 2	本機のCDデッキ内、またはCDチェンジャー内のCDが引っかかってイジェクトされないときの表示	引っかかる要素を取り除いてください。CDがイジェクトされない場合は、機器の故障と思われるので、販売店にご相談ください。
ER 3	本機のCDデッキ内、またはCDチェンジャー内のCDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷やソリのないCDと交換してください。
ER 6	CDチェンジャー内のCDが裏返しに入っているために演奏できないときの表示	CDをイジェクトして、正しく入れ直してください。
ER 8	カセットテープが引っかかって、イジェクトされないときの表示	引っかかる要素を取り除いてください。

ここで掲載したエラー以外の表示が出たときは、52ページを参照してリセットボタンを押してください。それでも復帰しない場合は、本体の電源を切り、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

■テープデッキ部

トラック方式	: 4トラックコンパクトカセットステレオ
周波数特性	: 30Hz~18kHz 30Hz~20kHz(メタルテープ)
SN比(メタルテープ)	: DOLBY B NR OFF時 58dB DOLBY B NR ON時 67dB
チャンネルセパレーション	: 45dB(1kHz)
ワウ・フラッター	: 0.06%(WRMS)
早送り・巻戻し時間	: 約110秒(C-60)

■CDデッキ部

周波数特性	: 10Hz~20kHz±1dB(EIAJ)
SN比	: 96dB(EIAJ)
ダイナミックレンジ	: 95dB(EIAJ)
高調波ひずみ率	: 0.01%(EIAJ)

■FMチューナー部

受信周波数	: 76.0MHz~90.0MHz
実用感度	: 12dBf(新IHF)
50dBクワイティンク感度	: 18dBf(新IHF)
SN比	: 70dB(IHF・A)
周波数特性	: 30Hz~15kHz±3dB
分離度	: 35dB(1kHz、60dBf)

■AMチューナー部

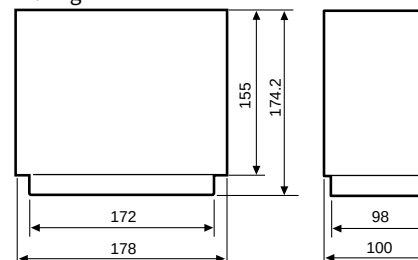
受信周波数	: 522kHz~1629kHz
実用感度	: 28dBμ
SN比	: 50dB(MONO)
分離度	: 25dB

■オーディオ部

定格出力	: 14W×4(20Hz~20kHz、1%、4Ω)
最大出力	: 30W×4(EIAJ)
トーンコントロール	: BASS ±10dB(100Hz) TREBLE ±10dB(10kHz)
適合スピーカーインピーダンス	: 4Ω(4~8Ω)
ラウドネスコントロール	: +8dB(100Hz) +6dB(10kHz) (音量ボリューム -32dB)
出力レベル(CD)	: 1.8V(負荷10kΩ)

■共通部

電源電圧	: DC14.4V
接地方式	: マイナス接地
消費電流	: 3A(1W時)
ヒューズ定格	: 10A
外形寸法	: 178(W)×100(H)×174.2(D)mm [取付寸法: 155(D)mm]
質 量	: 2.7kg



※ここに記載されている仕様および外観は、予告なく変更することがあります。

クラリオン株式会社

本 社 〒112-0001 東京都文京区白山5-35-2
TEL. 0120-112-140 (フリーダイヤル)
お問い合わせは、お客様相談室へ

ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	
	TEL.
製造番号	

お客様へ…… ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、お問い合わせされるときに便利です。